



新聞で船を作る折り方を教える和田さん(右)
 大山崎町大山崎・ふるさとセンター



新聞紙で作った帽子やシャツを身につけた児童ら

手品で世代間交流

大山崎で催し 親子連れ楽しむ

手品を通して世代間
 のコミュニケーション
 の深め方を学ぶ催しが
 このほど、大山崎町大
 山崎のふるさとセンタ
 ーであった。町内の幼
 児から小学生の親子連
 れなど約30人が参加
 し、手品体験や新聞紙
 を使った工作を楽しん
 だ。

町民生児童委員協議
 会が、地域住人と民生
 委員の交流の場をつく
 るうと初めて企画し
 た。

関西で手品を使って
 親子イベントなどを開
 いている「マジックパ
 パ」代表の和田のりあ
 き代表が演技を披露
 した。続いて、シール
 を使った手品などを紹
 介。参加者は「自分の
 目線の先をお客さん
 は見る」などと手品
 のこつを聞き、挑戦し

た。

新聞紙を折り、帽子
 や船、シャツなど次々
 に形を変える遊びを体
 験し、子どもたちは大
 喜び。「おうちでもや
 りたい」と楽しそうに
 話す児童もいて、新し
 い遊びに喜んでいた。

和田さんは保護者に
 「投げたりちぎったり
 できる物など、子ども
 が全力で喜んで遊べる
 環境を与えてみて」と
 話していた。

(梶原蓮菜)